

「共生の旅は続く」

多文化共生・公共圏について研究されて

シリヤ難民と結婚した写真家・小松由佳さんは「私も夫も、自分の側の文化から相手に要求していた。自分の文化から相手を捉えようとすれば、本質を見誤ってしまう。対話は大切だが、前提が違えば難しいこともある。『理解できないこと』を理解し、いかに同じ場に居られるかを模索したい。今も父と夫が『未知との遭遇』を繰り返している。ムスリム（イスラム教徒）として飲酒を禁ずる夫は、酔っばらって乱れる父に困惑。父は、駅前で突然イスラムの祈りを始め、視線を集める夫に困惑する。やがて両者は、こうしたときだけ距離を置くようになった。相手を否定せず、自分も無理しないために。

います。頭ではこのことを理解したつもりでしたが生活実感としてはピンとこないもどかしさを感じていました。小松さんの記事で「そういうことなのか」と納得できました。

井沢先生は「永住資格を持つ在留外国人に地方参政権を！永住資格の条件、現行10年の居住歴を5年以内に！」のインターネットによる署名活動を展開しています。「納税義務を果たしているのに参政権を認めない」のは全く道理に反しています。すでに2月13日現在で1万5000人の署名が寄せられています。日本人の協力と同時に、在留外国人が当事者として声を上げていただくことが必要です。

みなさん、日本人や外国人の知り合いに広めてください。多文化共生を掲げ、全国に先駆けてヘイトスピーチへの罰則規定を盛り込んだ条例を持つ川崎市から広げていきましょう。ご協力をお願いいたします。

私が尊敬する東洋大学の井沢泰樹教授は長年にわたって

飯塚敏一朗

3月の予定
★無料法律相談日
3月16日(火)
午後6時30分より
予約が必要です。
時間が限られています要件はまとめて
★土・日・祝日は休み

中央地域
境町相談所
日本共産党中央地域
後援会事務所
「困ったとき・
迷ったとき」
ご相談ください。
午後 13時～16時
(土・日・祭日除く)
電話 044-233-5812
所長 片柳すすむ

新型コロナ相談窓口
■発熱・せき・のどの痛みのある方
0570-048914
◇発熱等診療予約センター
◇市新型コロナコールセンター
044-200-0730
(土日含む24時間相談可)

第3回革新懇講座
のお知らせ
テーマ
任意後見と遺言
そして葬儀とお墓
講師 宮原春夫(くらしの相談センター所長)
日時 3月27日(土)
14:00～16:00
会場 サンピアン4F
会場費 300円
※コロナ感染対策をお願いします。

味とくらしの特選品
春季物品販売に
ご協力を！
土佐赤牛ビーフカ
みー一度は食べて
みたいね！



困った時は、ご相談ください。
川崎医療生活協同組合
川崎協同病院
☆☆看護師大募集☆☆
川崎区桜本 2-1-5
tel 044-299-4781 fax 044-299-4788
http://kawasaki-kyodo.hospi.jp

賛同署名の方法は、
まずインターネットで「Change.org」あるいは「チェンジオーグ」で検索してもらい、署名サイトを開きます。次に上方にある(虫メガネマーク)をクリックして、「外国籍住民」「地方参政権」と入力してもらい、再度「虫眼鏡」マークをクリックします。すると井沢先生のキャンペーンのページが出てきます。その右方に赤い囲みで「すぐに賛同する」というのがあるので、それをクリックしてください。これを初めて利用する人は名前とEメールアドレスをきかれます。名前は本名でもペンネームでも構いません。メールアドレスは正しく入力してもらっても公表はされません。メールアドレスをご入力いただくと、その後の進捗状況の記事が届きます。ページには呼びかけ文の10か国語版も掲載されています。外国人の知り合いに紹介するときにご活用ください。QRコードによる読み取り方法もありますが紙面の都合で割愛します。

健康保険適用
鍼・灸・訪問マッサージ
◆施術には各種健康保険が使えます。
費用/1割負担の方で、往診料込で1回約400円。身体障害1～2級の方や生活保護法の方の治療費はかかりません。詳しくはお電話で。
川崎中央はり・きゅう院本院
電話 044(244)1985

~天下第一中華~
中華料理 天龍
☆大小宴会も承ります☆
ホームページ http://www.tenryu.gr.jp/
川崎区砂子町(仲見世通り)由
tel 044-220-3460

2月の相談内容と件数 (1月21日～2月20日に受けたもの)		
相談内容	件数	
	当月	1-2月合計
住宅問題	2	5
生活保護	1	2
身障者問題	0	1
就職・仕事	0	1
医療・病院	0	0
市への要求	0	0
多重債務	0	0
架空請求	0	0
税金・年金	1	1
交通事故	0	0
子供問題	0	0
離婚問題	0	1
弁護士等の相談	4	5
不動産問題	1	3
後見・相続	4	7
その他	1	5
合計	14	31
開設からの総合計 (2003年9月)	7559	

一人暮らしの高齢者が多くなり、後見・相続・住宅問題等の相談が多くなっています。又、今月は生活保護を利用している人が思わぬ収入が入ったがどうしたら良いかとの相談がありました。センターでは、一時生活保護を辞退し、困るようになったら再度生活保護申請をしたらどうでしょうかと、お話し、納得されてお帰りになりました。

迷ったとき、困ったとき、くらしの相談センターへ(無料です)